

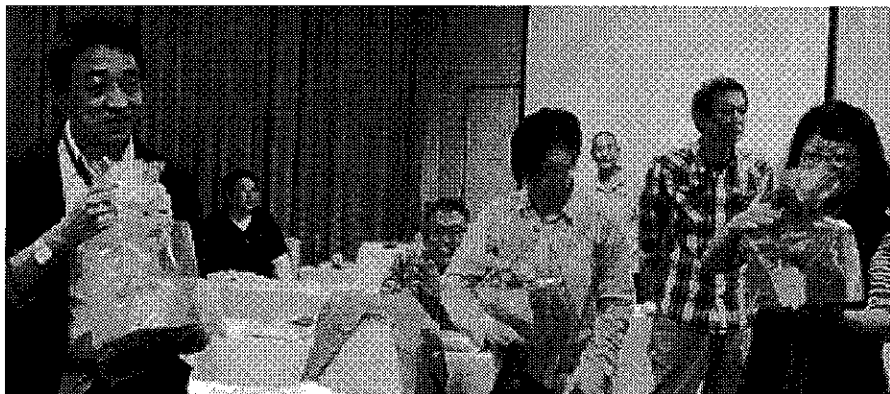
コンセプトは

秋厚労ニュース

参加者が主役

秋厚労定期大会

9月23日（土）～24日（日）、秋田市のさとみ温泉で秋厚労第70回定期大会が開催され、125人が参加しました。2日間で延50人以上が発言し、総括・方針の内容を充実させました。



定年退職の人にささやかなプレゼント

今年から「定年退職者への感謝コーナー」が始まりました。役員に限らず、定年まで組合員であり続けてくれた人への感謝を表明するのが目的です。対象者66人のうち、6人が大会に参加しました。

「定年退職者への感謝コーナー」

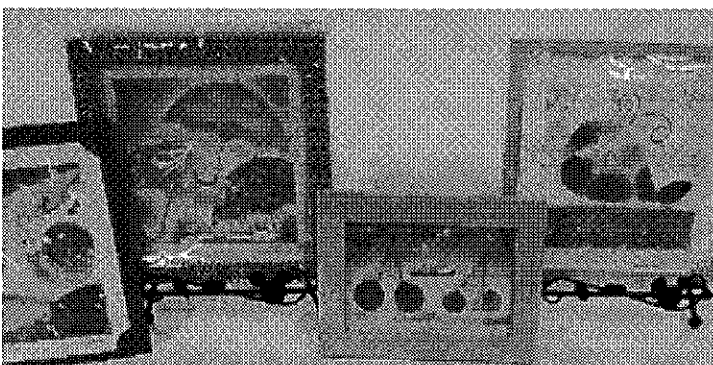
職も1人。こういう場があつて嬉しい」「これからも応援しています」等と述べました。

写真が会場を飾る

今回の大会のコンセプトは「代議員が主役」参加して元気になれる大会」で

相次ぐ発言 総括案を補強

秋厚労の取り組みに参加した人などが相次いで発言し、総括案を補強しました。



秋田支部の女性部がつくったパステルアート

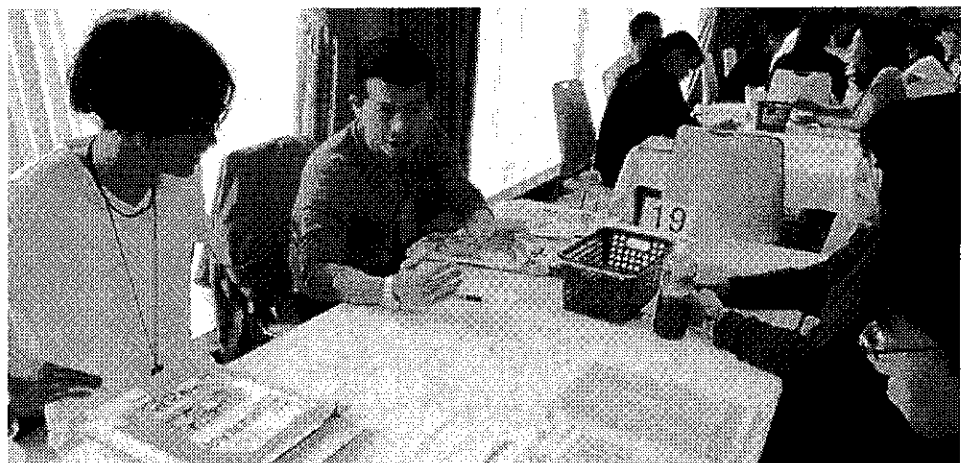
す。堅苦しくなく、執行部以外が発言しやすい雰囲気を目指しました。会場は女性部のパステルアートや教育宣伝部・青年部の写真で飾られ、2種類のウエルカムムービーが参加者を出迎えました。

「ウィンターフェスタでスノボ友達ができた」「全秋アクトで同じグループだった人など、特に関わりが深かった」など、特に青年部活動に関して沢山の発言があり、青年部の活発さを表すものとなりました。

支部を越え 思いを交流

2日目はラジオ体操で身体をほぐすことから始まり、執行部提案の後、支部・職種・年齢に関係なく45人のグループで、2日間の感想や日頃の思いを話し合い、議案の内容を深

を新設



支部・職種・年代が違う人たちと話し合う

めしました。2017年度、秋厚労は労働時間のルール作りや「集まる」ことに力を入れます。団体交渉へ参加しやすいように、要求決定の中央委員会を1ヶ月早め、支部・本部交渉を充実させること、働き続けられる職場・安心して暮らせる地域づくりを力を合わせることを確認しました。